

【30年度業績目標】

- ・事業の参加者へアンケートを実施し、「区の生涯学習事業で学んだ内容を、地域行事等に活かせる機会がある」という問いに対し、「ある」と答えた割合

目標：60%以上 ⇒ 実績：60.2%

目標達成



生涯学習ルーム参加者アンケートより

- ・若い人に参加していただきたい。
- ・時には、ボランティアで施設に踊りに行くことがあります。
- ・とても良い講座なので多くの人に知ってもらいたい。

平成30年度 具体的取組の目標達成一覧 こどもの未来部会関連

具体的な取組	目標達成状況
子育てが楽しくなるまちづくり	達成
次世代の学校づくり(学校配置の見直し)	未達成
次世代の学校づくり（「生野の教育」の実現①）	未達成
次世代の学校づくり（「生野の教育」の実現②）	達成
次世代の学校づくり（「生野の教育」の実現③）	達成
次世代の学校づくり（「生野の教育」の実現④）	未達成
次世代の学校づくり（学校・教育コミュニティ支援①）	達成
次世代の学校づくり（学校・教育コミュニティ支援②）	未達成
「ニア・イズ・ベター」に基づく分権型教育行政の効果的な推進	未達成
まちの教育力を上げる	達成

目標の達成状況を踏まえた評価結果の総括

こどもの未来部会関連

様々な子育て支援の取組について参加者からは好評を得ていることから、さらに多くの方が参加できるように引き続き効果的な情報発信に取り組んでいく。そのうえで、区民が安心してこどもを生ま育てることができる環境や相談支援体制の整備を進め、より子育てしやすいまちづくりを進めていく。

次世代の学校づくり（生野の教育）の取組について、一定の成果はあるものの、学習意欲の向上や、特色ある学校づくりの情報発信に引き続き取り組んでいく。

次世代の学校づくり（学校配置の見直し）について、魅力ある新たな学校の姿や地域の活性化につながる学校跡地を核としたまちづくりを提案しつつ、こどもたちの教育環境の改善を最優先に、保護者・地域住民に丁寧な説明と意見交換を重ね、合意形成に向けた取組を進めていく。

平成30年度 主な取組
まちの未来部会関連

地域資源から魅力資源へ
ものづくりの伝統を守り、受け継がれるための支援
空き家の利活用による新たな魅力づくり

生野シティプロモーション
「生野の魅力」の発掘・浸透

地域社会における住民自治の拡充
地域活動協議会への支援
地域活動協議会(まち協)の自律運営促進



まち未来

● 「ものづくり百景」の追加（6社）

追加・更新したものづくり百景

glass工房 ココロイ

ガラス工場の作家として作品を作りながら
様々な課題を生徒さんに教えています

代表取締役
佐藤 誠一さん

株式会社乾レンズ

ガラスが丸く磨けるが、磨けない。目の検査に必要、
キチンと丸く磨けるガラスレンズを製造
している会社です。

日本の高い技術力で
磨き上げられたレンズは
世界中で通用する
サングラスを作り
たい

代表取締役
乾 喜則さん

三大工芸

新しいオーダーにも対応する
無敵な得意先とお客様との関係

代表取締役
佐藤 誠一さん

日本電鍮工業株式会社

めっきでワンランクアップの
ものづくりをしませんか？

代表取締役
寺内 伸一さん

丸福製紐株式会社

ホーンジャク印のブランド名で
高品質なゴム製品を皆様にご提供します

代表取締役
伴野 直治さん

株式会社村井水栓製作所

水廻りにこだわらず
生活の中あらゆるポイントを見出す

代表取締役
村井 隆一さん

まち未来

- 生野工業高校生を対象としたインターンシップの開催
(8月8日・9日 3社、3名)
- ものづくり教室の開催 (7月27日 34名)
- こども工作教室の開催 (3月17日 300名以上)
- 芸術文化に親しむワークショップの開催 (9回 75名)
- 見学ツアーの実施 (7回 175名) など



芸術文化に親しむワークショップ



小学生ものづくり教室

【30年度業績目標】

- ・ インターンシップへの参加者数

目標:10人以上 ⇒ 実績:3人

- ・ 区HPのものづくりページのビュー数

目標 : 2,400 ⇒ 実績 : 2,459

目標未達成

◆要因分析と課題

- ・ インターンシップ事業の参加者が3名と少数
- ・ 対象が2年生のみ
- ・ 事業実施日の設定調整（他の事業との重複等）

◆今年度の方向性

- ・ ものづくり百景を完成。
- ・ ものづくりを体験できるワークショップやイベント、また、工場見学等も含めた内容に事業を再構築し、ものづくりの楽しさや地域における企業の重要性をこども達に発信する。

(2) 空き家の利活用による新たな魅力づくり

◆取組実績

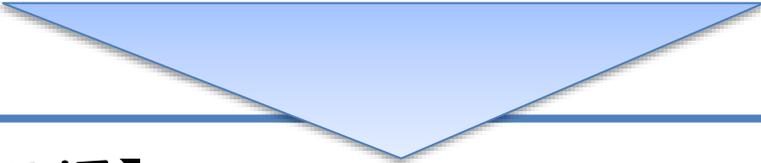
- ・ 空き家カフェ拡大版：1回（参加者64名）
- ・ 4区合同空き家管理セミナー：1回（参加者26名）
- ・ 地域が主体となった空家対策会議（空き家カフェ）への参加・空き家利活用事例紹介：11回
- ・ 「再生」まちづくり講演会：6回（参加者362名）
- ・ 空き家利活用アンケート実施（回答数66件）



空き家カフェ拡大版



空き家利活用事例紹介



【30年度業績目標】

・空き家の利活用を促進する取組みに着手した地域

目標：1地域 ⇒ 実績：1地域

目標達成



空き家カフェ拡大版参加者アンケートより

- ・初めての参加でしたが大変興味ある事例を見させていただきました。
- ・取り壊さずに何とかしたいというところが私にとって新しい発想だった。今後の事業の参考のため、これからも参加したい
- ・地元の事例を聞いて良かったです。定期的に開催してほしい。

(3) 「生野の魅力」の発掘・浸透

◆取組実績

- ・テーマ設定した広報紙特集記事作成：年12回
- ・ブログ発信数76件
- ・広報紙、ブログ、ツイッターのイメージを刷新
- ・毎月の広報紙において連載など各媒体への連携強化
 - 空き家リノベーション事例紹介：いくのdeリノベ
 - 区内で暮らす外国人紹介：IKUNO×グローバル
 - ものづくり企業紹介：ピックアップものづくり百景
- ・プレスリリース：38件
- ・官民連携サイト「いくのぐらし」開設（平成30年10月～）

「顔が見える」
広報をめざした



まち未来

【30年度業績目標】

- ・年間ブログビュー数

目標：18,000件 ⇒ 実績：22,224件

- ・プレス情報がメディアで取り上げられた件数

目標：12件以上 ⇒ 実績：18件

目標達成



広報紙を読んだ区民より

- ・まちの人の顔がみえる紙面になった
- ・特集記事が分かりやすい
- ・読み物として毎月楽しみ
- ・読みやすく読む気になった

(4) 地域活動協議会（まち協）の支援

◆取組実績

●地域活動協議会への財政的支援 32,174千円（19地域）



高齢者と小学生の交流事業



まち協 合同ミーティングの開催

【30年度業績目標】

・各団体により地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じている区民の割合

目標：40%以上 ⇒ 実績：51.1%

目標達成



まち協合同ミーティング参加者アンケートより

- ・初めて参加させていただきましたが、大変勉強になりました。
- ・皆様の意見を参考に生かしたい
- ・毎年このような合同ミーティングがあればいいですね。

(5) 地域活動協議会（まち協）の自律運営促進

◆取組実績

民間事業者の柔軟な立場やノウハウを活かせる中間支援組織を活用して、地域まちづくり協議会の自主自律的な地域運営に向け支援を実施

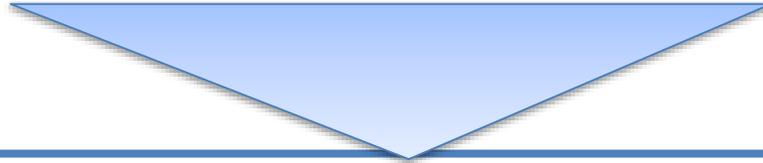
- ・ 多様な地域活動との連携・協働に向けたネットワークづくりへの支援
- ・ 幅広い主体の発掘や新たな担い手の育成に向けた支援
- ・ 次世代につなげる地域活性化に向けた取り組みへの支援 など



新たな担い手づくりへの取組み まちカフェ



異文化交流事業



【30年度業績目標】

・地域活動協議会の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合

目標：80%以上 ⇒ 実績：80.1%

目標達成

平成30年度 具体的取組の目標達成一覧 まちの未来部会関連

具体的な取組	目標達成状況
ものづくりの伝統を守り、受け継がれるための支援	未達成
空き家の利活用による新たな魅力づくり	達成
「生野の魅力」の発掘・浸透	達成
地域活動協議会（まち協）の支援	達成
地域活動協議会（まち協）の自律運営促進	達成

目標の達成状況を踏まえた評価結果の総括

まちの未来部会関連

区の魅力あるまちづくりのためには、子育て層や若年層等、ターゲットごとに生野の知名度・好感度が上がる情報の発信を継続的に行うこと、また、外国人に対しては「やさしい日本語」での行政情報等を継続的に発信することが重要である。

生野区が有する魅力的な地域資源をより一層高めるように、広報紙やブログ、ツイッター等、各種広報媒体の特性を活かして区の内外に効果的に発信していく。

また、まちの魅力向上、地域活性化のためには、地域住民による自律的な地域活動を重ねていくことが求められることから、引き続き地域活動協議会をはじめとした各種団体と連携して、ともに持続可能なまちづくりに取り組んでいく。

